

ひゃく ぜんしょ へん
百科全書 デイトロほか編

1751 - 1780 35冊
縦31.9cm 横17.5cm

古来より人々は「知識」を求め続けてきた。そして得たものを体系的に分類し、具体的な形で残そうとする。フランスで出版された『百科全書』も同様、古くからの、また大航海時代に得た大量の新しい「知識」を整序せいじょさせたもので、今日の「百科事典」の母体ともいえる書物である。

始まりはイギリスで出版され評判を得た百科事典のフランス語版の出版企画だった。しかしこれは単なる翻訳の域を超え、全三十五巻約三十年を費やしたまさしく諸知識の集大成といえる大事典となる。編集責任者デイドロや協力

者ダランベールら百科全書に関わった知識人を「百科全書派」と呼ぶ。彼らの中には、

旧弊きゅうへい的なキリスト教の考えや支配体制を批判する人もいた。当然それは記事にも反映され、

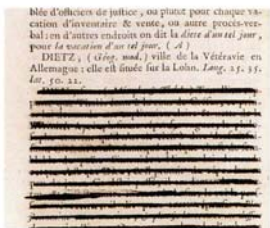
とりわけ第七巻刊行までは反百科全書派との対立や当局からの弾圧が激しく、出版の道程みちは波乱に富む。そのため、以降デイドロの名前はタイトルページから消え、ダランベールも編集から離脱りだつした。また今日百科全書派とされるモンテスキュー、ヴォルテールらは、実はほとんど執筆しておらず、同志にすることで出版を権威づけようとの思惑

が垣間見える。

しかしその影響もあつて

か世論の関心は非常に大きく、刊行ごとに予約部数は増加し、ベストセラーとなった。

ところで、館蔵『百科全書』には、インクで消されたり、切り取られている部分がある。これはおそらく反対派だった旧蔵者によるものだろう。削除部分が第七巻までに集中していることも、歴史の裏付けとして興味深い。



塗り消された「DIEU(神)」の部分

(天理図書館 徳島照代)

天理図書館のお知らせ Tel:0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>
 平日(午前9時～午後5時半) 土・日・祝(午前9時～午後4時半)
 ただし6月30日は休み
 (本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)